

# みんな みんな

2003年 11月 21日 Vol. 36

特定非営利活動法人

せんだい・みやぎNPOセンター 事務局通信

## NPOと政治

NPO法が施行されて2回目の衆議院議員総選挙が終わりました。結果はご存じの通りであり、論評はいたしません。この期にあたり、NPOと政治について考えます。

NPO法第2条でNPO法人は、「政治上の主義の主張を主たる目的としない」「特定の候補者・政党等を推薦することを主たる目的としない」とうたわれており、この規定が、喉元に刺さった魚の骨のように、NPOの政治的な立場を「いすく」（←仙台弁）しています。

今年の春、(NPO法人) NPO推進北海道会議代表理事の上田文夫氏が札幌市長選挙に出馬、再選挙の末、みごと当選を果たしました。アリスセンターの機関誌「たあとる通信No. 11」でNPOと政治の特集があり、北海道会議事務局長の佐藤隆さんがこんな文章を寄せています。「・・・事務所の中にいるすべての人（と私は思っていますが）が上田さんを市長にしたいと思っているのに一切の表現ができないのです。・・・」とありました。文脈の中には、あるNPO法人が候補予定者を推薦したら北海道庁から行政指導がなされたことが書かれてあり、そのような対応となったようです。

NPO法では、「政治的活動を主たる目的としない」としか書かれておらず、団体の主たる目的（福祉や環境など）に理解を示す候補者をNPO法人が従たる活動として推薦することは、自然の成り行きであり、北海道庁の指導には行き過ぎがあると考えます。しかし、政治との成熟した関係構築、不当な行政指導を跳ね除ける正当性の主張力など、NPOセクターの未成熟も原因となっています。

NPO萌芽期から、成熟期に向けて、NPOと政治の呪縛は解かなければいけません。政治との関係を正面から議論する時期に差し掛かっています。

来年は、参議院選挙の年でもあります。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 黒澤学

### 内容

いよいよスタート! 「せんだいCARES」  
会計・税務相談会開催のご案内・らくだのブック  
環境シンポジウム報告・セナードサロン  
PONPO-NET・BOOK・事務局活動報告など



表紙イラスト 中務 恵美

この秋、「地図にない仙台」を探しに行こう！

## 街角にひろがる共感と協働の輪 いよいよ始動！「せんだいCARES」

せんだい・みやぎNPOセンターが開催する今年度最大のイベント「せんだいCARES」がいよいよスタートしました。30を超える在仙企業の広報・参加協力をバックに、11月を通して24のイベントが仙台市内各所で行われています。そのオープニングは11月1日、エル・パーク仙台ギャラリーホールを会場に行われました。その様子をご紹介します。

いよいよ今年11月から始まった「せんだいCARES」。仙台のあちこちでは「赤い恐竜」が出現しています。みなさんは、「せんだいCARES」の参加イベントにもうお出かけになりましたか？

オープニングにはNPO・企業・市民が大集合！

去る11月1日（土）に「せんだいCARES」開始を記念して、オープニングイベントを開催しました。内容は、FMじょんぱの公開録音、NPOボランティア相談会の他、協力企業と参加NPOのリレートーク、そして交流パーティ。NPO 17団体・企業7社が会場いっぱいにブースを構え、普段は会う機会の少ない面々がお互いの情報を交換しました。中には会員や寄付を獲得したNPOがあったり、企業の社会貢献担当者との出会いから、具体的な連携に発展しそうなNPOがあったりと実りの多い場になりました。

### NPOの原点を再確認

その中から当日参加されたNPOのイベントをいくつか紹介します。「シャプラニール仙台・ポンドゥの会」さん企画の『わくわくカレー交流』では、カレー作りを通してバングラディッシュと自分達の暮らしを学ぶワークショップを行い、楽しみながら国際理解を学べる場を作るといふもの。

「ハイチ友の会」さんは、西半球の最貧国ハイチの人々をフェアトレードなどを通してサポートする団体。PRの中で団体の方は「ハイチの人々を目のあたりにして、なんとかしたいという気持



はあっても、ハイチを支援している団体はありませんでした。ではどうするか？といった時、どこもやっていないなら、自分で立ち上げてみましょう！と始めたんです」とキッパリ。NPO立ち上げの原点と感じる、とても印象に残った言葉でした。

地元酒造メーカーの「一ノ蔵」さんは、「環境保全米ネットワーク」さんと連携し、日本酒の製造を行っています。交流パーティでは、環境保全米ネットワークのお米のマークが入ったおいしい日本酒や甘酒などの試飲をすることができました。

イベント会場は、真っ赤なCARESロゴ入りTシャツ（絶賛発売中！）に身を包んだNPO関係者や企業人であふれました。当センターではホームページで随時参加イベント情報を提供中です。ぜひ、のぞいてみてください。

（渋谷小百合）

熱い30日間をまるごとふりかえる!!

### せんだいCARES・フィナーレ

日時：11月30日（日）13:30～16:30

場所：仙台市市民活動サポートセンター  
3階セミナーホール

参加費：500円 定員：30名 事前申込必要

**「せんだいCARES」参加者の声！**

オープニング参加者に企業・NPOそれぞれの立場からせんだいCARESへの期待や希望をうかがいました。

■ 企業から ■

宮城ゼロックス株式会社 管理本部経営企画課  
課長 小関 裕さん

せんだいCARESにケアズ サポーターとして参加しています。昨年から、せんだい・みやぎNPOセンターが取り組んでいる、企業とNPOの人材交流の仕組みづくり事業(人財サポートシステムの開発事業)に関わったことがきっかけで、事務局長の紅色さんから是非にとお誘いを受けて今日の参加となりました。今日のオープニングを迎えるまでに、他企業のケアズサポーターの方々と月1~2回のミーティングを重ね準備してきました。

せんだいCARESに期待することは、やはり企業とNPOなど異なるセクターが「ぐちゃぐちゃ」に混ざり合うようになればいいなあと思います。今回のイベントでお互いの理解がますます深まることを望んでいます。

■ NPOから ■

定禅寺ストリート社の都のアート展  
実行委員長 中村喜吉さん 実行委員 佐々木亮さん

今年は青葉区の事業から民間の事業になって初めての年なので、大変なことが多かったのですが、せんだいCARESに参加できてとても助かりました。いつもイベントに向けた準備のスケジュールをこなすだけで

精一杯なので企業などに広報協力を依頼する余裕がないのです。イベントを開催する場合、広報に予算が一番かかるので、今回は広報活動をバックアップしてくれるシステムだと聞き、それを活用しない手はないと思ってせんだいCARESに参加しました。

私たちとしては、イベントのパンフレットとせんだいCARESのパンフレットを一緒にして、デザイン系の専門学校やお世話になっている企業、定禅寺通りのお店などに配布しました。せんだいCARESのパンフレットは色調も目を惹きますね。でも、どうしてキャラクターが恐竜なんですか?気になるなあ。

シャプラニール仙台・ポンドゥの会

代表 原容子さん

せんだいCARESのパンフレットに頼ってしまい、私たちとしてはあまり広報をしていませんでした。でも、せんだいCARESのパンフレットを近所の市民センターや喫茶店などに配布したとたん2件の問い合わせがありました。嬉しかったのですが、反応がものすごいのかとちょっと慌ててしまいました。今は落ち着いていますが...

せんだいCARESに参加することで、いろいろなNPOとつながりができるといいなと思っています。いつも同じ活動分野のNPOと組むことが多いので、異なる活動分野のNPOが一緒になって、一つのイベントを作れるようになると面白いと思います。

(インタビュー：真壁さおり 布田裕子)

**ネットワーキング2003日本縦断国際シンポジウム  
「市民社会とインターネット」開催!**

10月16日、せんだいメディアテーク1階オープンスクエアを会場に「インターネットと市民活動」をテーマとしたワークショップとシンポジウムを開催しました。これは(特活)市民コンピュータコミュニティ研究会(JCAFFE)という情報通信支援NPOの草分け的組織が、今年10周年を迎えるにあたって企画した全国巡回シンポジウムの一環で、当センターとせんだいメディアテークが共催しました。

JCAFFEは、いわゆるパソコンボランティアではなく、インターネットを市民社会の真に役立つ道具にすることで、そのために市民の自発的な行動を支援し、そのネットワークづくりに貢献することを目標に、1993年設立されたNPOです。インターネットを使った市民活動の実例や考え方を、アメリカの事例も通して学ぶ機会となりました。

当センターは、設立間もない98年の3月に、「ネットワークは市民活動の生命線」情報ボランティアの役割」というメディアテークの準備イベントを共催しています。その時はアメリカのパソコン支援NPO「コンピュータ」代表、ベン・ホリン氏の活動を紹介し、紹介者として来日していたフリージャーナリストの岡部一明氏とも知り合うことができました。交流会で名刺を交わした針生英一氏は、今では当センターの理事となり、岡部氏の案内で訪ねたサンフランシスコのNPO「パブリックメディアセンター(PMC)」の活動に魅せられた紅晶理事と共に、NPOの広報力サポートのためのVOICE OF NPO PROJECTを立ち上げるに至りました。(加藤哲夫)

BENYのはみ出しエッセイ ◆らくだのブクブク◆ vol.7

「ラバを買ってあげたい」

常務理事・事務局長 紅邑 晶子

今年は、審査員の仕事をたくさんしました。審査をするということは、審査をする側もその結果に責任を持つことになるので、本当に責任重大です。最近、収支決算の合計が合わないという団体も少なく、いずれも優劣付け難い内容であるため、決め手を見つけるのが困難です。そこで、審査の決め手を少しばかり3つほどご紹介します。

1. その成果目標が数字で表されていること。  
一杯とか、たくさんというのではなく、目標を現在1000のところ1200にするとか。
2. そのお金を何に使うのかがはっきりしていること。新しく作業所を作るというよりは、そこに無くてはならないミーティング用大テーブル(30000円)とホワイトボード(20000円)を買う資金にあてるなど。

3. 助成を受けることでその団体や事業にどんな変化が起きるのかをより具体的に伝えること。

仙台青葉ライオンズクラブが11月15日に行ったNPO公開コンペに参加した「ハイチ友の会」さんは、ハイチの村で使う荷物運びのための「ラバ」(12000円)を4頭寄付したいとプレゼンテーションしました。そのラバを村人が交代で借り受けて、作った農作物を麓の町で売ると4倍の売上になるそうです。これを知った審査員の1人は、「わたしの寄付金でラバを買ってあげたい」とおっしゃいました。わたしも思わず、「青葉」とか「仙台」という名前のラバが荷物を積んで山道を歩いている姿を思い浮かべました。こんなふうに気持ちを揺さぶる申請書を書くこと、プレゼンをすることが、大切だと思いました。

会計業務に携わっている担当者や、団体運営を担っている方へ朗報です！

みなさんの団体では、日常的な会計処理はもちろん、年度末の決算処理や、その後の関連機関への届出などでお困りになることはありませんか？そうした会計・税務に関するお悩みを解決する相談会を12月12日に実施します。「会計のちょっとした事なんだけど気になっている事が...」「消費税の改正って、うちの団体も関係あるの？」「団体を立ち上げたばかりで、決算に備えてどうしたらいいか？」などなど。会計や税務につきまとうこんな「頭痛のタネ」を、それぞれの財政規模や雇用状況などのちがいを踏まえた上で、すっきり片づけるチャンスです。

会計税務の専門家エス・ピー仙台と、NPO運営の実務者がみなさんをお待ちしています。ぜひ、この相談会をご利用ください。

日時：2003年12月12日(金) 10:00~12:00 13:30~17:30  
(1時間単位・予約制)

場所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室4  
共催：エス・ピー仙台、(特活)せんだい・みやぎNPOセンター  
相談料：当センター会員 2,000円、非会員 2,500円

\* 要事前申込。ご希望の方はお電話をください。

お問い合わせ・申込先：(特活)せんだい・みやぎNPOセンター

TEL：022-264-1281 FAX：022-264-1209

【担当：遊佐、青木】

申込受付中！

年越し前にいつもの「頭痛のタネ」をズバリ解決!!  
市民活動団体・NPOのための  
「専門家・税理士による会計・税務相談会」

■センダードサロン報告■  
第80回・第81回

部会報告

■PONPO-NET■  
10月16日開催

第80回(9月29日)「その時NPOはどう動いたか、そしてこれからに備えて」と題し、7月に発生した宮城県北部連続地震で被害を受けた南郷町で、ボランティアセンターの立ち上げに尽力された社会福祉協議会やNPOの方々をお招きし、当時のボランティアセンターの立ち上げやその仕組みづくりなどについてお話をうかがいました。日頃から顔の見える関係をつくること、そして、各々のNPOができることについての積極的な情報発信が、災害時にさまざまな団体とスムーズに連携できることにつながるということが、意見交換を通して伝わってきた会でした。

第81回(10月23日)「NPO常勤スタッフ交流会!」は、日ごろ交流することが少ないさまざまな団体の常勤スタッフ同士で情報交換・交流会を行い、お互いの顔が見える関係をつくと共に、団体間の連携のきっかけになることを願って企画しました。12団体20名が参加し、自己紹介のあと、2人組になりインタビュー。今の仕事に就いた経緯や仕事上の悩みの他、趣味などプライベートな話題まで魅力を探り出し、他の参加者に発表しました。そのあとの名刺交換と会場を移しての懇親会も大いに盛り上がりました。「連携が生まれた」という続報、お待ちしております!

次回: 12月18日(木)

テーマ: 人を惹きつけるNPOトークテクを学ぼう!

会場: 仙台市市民活動サポートセンター

(中津涼子・中務恵美)

10月16日は「ごみ問題と企業の取り組みを学んでみませんか?」と題し、宮城ゼロックス(株)コラボレーションルームを会場に開催しました。

まず、「NPO法人みちのくECOリサイクルネットワーク」の取組みと産業廃棄物の現状についてお話がありました。皆さんもどこかで見たことありませんか? 空き地に突如と現れる廃車や電化製品などのゴミの山! この背景には、産業廃棄物のうち不法投棄されているものが年間40万トンあることや、産業廃棄物処理業者自体が零細企業のため、廃棄物をきちんと処理しにくい現実があるとのことでした。これについて、ゴミを出している市民、製造・流通・販売企業、行政が各々責任を持ち、ゴミを出さないための取り組みが必要であることが分かりました。

次に、富士ゼロックスで取り組んでいるカートリッジのリサイクルシステムについてビデオ学習を行いました。トナーカートリッジ部品のリサイクル率は95%! その他のゴミも資源として活用しているため、同社の産業廃棄物排出量はなんとゼロ! だそうです。

参加者にとっては、環境と経済の関係について、また、自分達に何が出来るのか、ということを考える良い機会となりました。

次回: 12月9日 テーマ: 「ユニバーサルデザイン」  
会場: 東北NSソリューションズ(株) (田中聡子)

企業とNPOの交流・連携のための連続フォーラム  
-ただ今、参加者募集中-

in石巻

藤哲夫が講演を行います。今や大都市・大企業だけでなく、地方都市でも企業の社会貢献活動の重要性が高まっています。さまざまな要因で厳しさを増す地方経済の活性化の新しいヒントを、このフォーラムで見つけることができるでしょう。2月には古川でも同様のフォーラムを開催します。ぜひご参加下さい。(工藤寛之)

来る12月15日(月)石巻ネットワークス館ディスプレイカレッジNPOの交流・連携のための連続フォーラム・企業が動く地域はもっとすみやすくする」を開催します。この企画は、去る7月17日に行われた「地域貢献サポートファンタジー」に続く本フォーラム2回目の催しで、(特活)いしのみまきNPOセンターとの共催で実施します。

今回は、以前から当センターの事業にご協力をいただいている東北労働金庫をはじめとして、石巻地方で積極的に地域貢献活動に取り組んでいる企業からもゲストをお迎えし、これまでの取り組みを発表していただく一方、企業の社会貢献の現状と将来について、当センター代表理事の加

## 環境シンポジウム2003 IN 仙台 報告

### こんなまちに住んでみたい！安全・快適なエコシティ

#### あの料理研究家・エッセイストの小林カツ代氏が来仙！

11月16日（日）、ハーネル仙台にて『2003環境シンポジウムIN仙台：こんなまちで暮らしたい！安全・快適なエコシティ』が開催されました。このシンポジウムは、社団法人日本損害保険協会との共催事業で、「せんだいCARES」への参加企画ともなっていました。当日は料理研究家・エッセイストの小林カツ代氏をお招きしての講演と、「環境問題解決の促進に向けて」をテーマにしたパネルディスカッションが行われ、約130名の参加者が熱心に講師やパネリストの話しに耳を傾けました。

小林氏は料理研究家でエッセイストですが、食だけの分野にこだわらず、さまざまな社会問題に取り組む「市民活動家」としても活躍されています。そのため、今回は「キッチンから提案する環境改善」をテーマにお話をいただきましたが、その内容は単にエコ・クッキングの例を紹介するだけではありませんでした。「さまざまな食材の持つ生命の力を活かして、おいしく料理を作ろうとすれば自然と水や油の使用料は少なくなる」「無理をしない、自然に逆らわないということが、気持ちいい、おいしいにつながる」など食を通した人間と自然との基本的な

向き合い方について語る一方、「キッチンから、と言う視点は大切だが、これだけでは環境悪化の責任が女性に押し付けられることになる」と指摘し、その上で消費者の立場から企業・行政の社会的責任を明確に主張されました。

後半は企業（宮城ゼロックス（株）：大堀隆夫氏）、行政（仙台市環境局環境部：石井鉄雄氏）、NPO（ACT53仙台：矢吹真理子氏）、主催者（（社）日本損害保険協会：志鎌敬氏）それぞれの立場からのパネリストをお迎えし、当センターの加藤代表理事のコーディネートで、それぞれの環境問題解決に向けた取り組みや活動紹介、そして、今後の展望についての意見を交わしました。

今回の企画は、「せんだいCARES」のイベントとしても事前に幅広い告知を行ったこともあり、NPO関係者に限らないさまざまな立場の市民が参加しました。それだけに、環境問題を一つの切り口として、市民やNPOが果たす役割や取り組みの意義を、改めて市民に伝えることができた、有意義な機会となりました。

（工藤寛之）

## BOOK

「地域再生」のまちづくり・むらづくり

循環型社会の地域計画

山田 晴義 編著

ぎょうせい 2381円（税別）

「活気あふれる素敵な処にすみたい」と思う人は多いでしょう。しかし、自分の住んでいるところを見回すとどうでしょうか？ 魅力は何も無いと思う人：本当にそうでしょうか？ 見逃しているだけですよ。さあ、一緒に地元の良さを再発見して、多くの交流が生まれる地域に再生していきましよう！

この本は地域づくりを実践・研究している八人の執筆者によって東北を中心に国内外の具体的な事例が豊富に盛り込まれ、地域計画の手法等をわかりやすく体系的・総合的に紹介しています。現代はまちづくりの分野に限らず多方面で住民と行政とNPO・企業との協働が進んでおり、各当事者の参考になることが数多く書かれています。必読の書です。また、エココミュニケーションやNPO、コミュニティビジネス等、誤解されがち

な地域再生手法のキーワードについても事例を交えて適切に語られているので非常に参考になります。

個人的には農村でのワーキングホリデーを体験した都会の参加者のエピソード（特に堆肥ハイ）が興味深いうえに面白く、人に会う度にその話をしています。人は頭だけでなく体と五感を使うことでより活力が湧いて出るのでしよう。執筆者の一人が表した「言いだしっぺであることをおそれず、ほかものと呼ばれても夢を持ち、よく人と語りあい、縁をつなぎまくり、苦勞も悩みも笑い飛ばしながら楽しさに変えていく、そんな森と風の人にわたしはなりたい」という気持ちや地域と人を生みだす原動力に変わらせます。ぜひ一読下さい。（佐藤由里）

事務局活動報告 (9/7~11/19)

活動報告

■事務局/自主事業関連

- ・ 事業・運営会議 (第67回:9/8 第68回:9/25 第69回:10/7 第70回:10/20 第71回:11/6第72回:11/17)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング (9/10・17・10/1・8・15・22・11/5・12・19)
- ・ 事業企画戦略会議 (第20回:9/18 第21回:10/16)
- ・ センター会議 (9/24・10/29)
- ・ 理事会 (第52回:9/27・28・第53回:11/19)
- ・ VOICE OF NPO PROJECT 2003「市民ライター&市民デザイナー養成講座」[NPO広報戦略講座] (9/10・17・10/1・8・15・22・11/5 加藤・紅邑・門間)
- ・ せんだいCARES/  
「サポーターズ会議」「ボランティアマネジメント講座」「参加企業説明会」「オープニング」(9/26・30・10/2・20・11/1)
- ・ センターサロン「その時NPOはどう動いたか、そしてこれからはどう動くか」[常勤スタッフ交流会] (9/29・10/23 遠藤智・中務)
- ・ アドボカシー研究会合同会議 (10/3 加藤・紅邑・新川・黒澤・高田)
- ・ みやぎNPO支援センターネットワーク/古川講座「スタッフいきいき! 活動くんくん! NPO人材基礎講座」石巻講座「NPO資金調達決定版」(10/5・11/8 加藤・遠藤智・工藤)
- ・ サポート資源提供システム運営委員会 (10/6 加藤・紅邑・青木・遠藤智・高田)
- ・ PONPO-NET「ごみ問題と企業の取組を学んでみませんか?」(10/16 松尾・田中)
- ・ ジョブトライアル:阿部望さん (11/1~17)

■ NPO/企業関連

- ・ 実践型コミュニティビジネス開発講座/主催:(財)仙台市産業振興事業団 (9/9・30・10/28・11/4・12・13・18 加藤・遠藤智)
- ・ 「ろうきん地域貢献ファンド」書類審査・公開コンペ (9/10・22 加藤・紅邑・高田)
- ・ CEO会議/主催:(特)日本NPOセンター (9/13・11/10 加藤・紅邑)
- ・ 基礎講座「ミッションとは何か?~その実現のための3本の矢「おもしろ情報・計画」/主催:NPO全国フォーラム2003北海道会議実行委員会 (9/13・14 加藤)
- ・ 21世紀の地方自治土曜セミナー「住民の視線から見た公務員、何が求められているのか」/主催:(財)社会開発研究センター宮城総合研究所 (9/20 加藤)
- ・ 全国ホームタウンサミット in 仙台/主催:ベガルタ仙台市民後援会 (9/20 遠藤(智))
- ・ 宮城・仙台における企業とNPOの連携・協働の取組み~地域貢献サポートファンド、サポート資源提供システムについて~/主催:(社)茨城県経営者協会 (9/26 青木)
- ・ 名古屋パートナーシップ大賞発表式 (10/4 加藤)
- ・ 市民社会とインターネット ネットワーキングの20年と未来への躍進/主催:(特)市民コンピュータコミュニケーション研究会 (10/16)
- ・ 地域版ボランティアパワーアップ研修「企画コンペ」審査会/主催:宮城県社会福祉協議会 (10/20 松尾)
- ・ 本町商店街振興組合調査事業委員会 (10/20 青木)
- ・ ボランティア活動/主催:せんだい豊鈴学園 (10/23 眞壁)
- ・ 多文化セミナーおみえ/主催:多文化セミナーおみえ実行委員会 (10/25・26 加藤)

- ・ インフォーマルサービス協働システム研究モデル事業/主催:宮城野区社会福祉協議会、(特)ゆうあんどあい (10/27 青木)
- ・ 河北新報社職員研修 (10/30 加藤・紅邑)
- ・ (特)ほっとあい役員研修 (11/8 紅邑・高田)
- ・ (特)日本NPOセンター理事会 (11/10 紅邑)
- ・ (特)市民社会創造ファンド総会 (11/10 紅邑)
- ・ (特)あかねグループ「理事研修」「事務局研修」(11/12・17 紅邑)
- ・ 仙台青葉ライオンズクラブ「NPO公開コンペ2003」(11/6・15 紅邑・高田)

■自治体関連

- ・ 「エコフェスタ アレマ隊員養成講座」「アレマ隊員出前講座」「アレマ会議」/主催:仙台市環境局廃棄物管理課 (9/7・11/5・7 紅邑)
- ・ 百年の杜づくりフォーラム/主催:仙台市建設局 (9/7・10/5・12・25 青木・松尾・佐藤)
- ・ 石巻地域新市まちづくり計画検討委員会 (9/8・19 加藤・紅邑)
- ・ 仙台都市圏総合都市交通協議会 (9/9 加藤)
- ・ 宮城広瀬高校教職員研修 (9/9 紅邑)
- ・ ステップ2研修住民協働ワークショップ/主催:(財)ふくしま自治研修センター (9/10・17・10/1・11/11 加藤)
- ・ 市民と行政のパートナーシップ研究会/主催:北上市企画調整部企画課 (9/11 加藤)
- ・ クリーン仙台推進員グループ学習会/主催:仙台市環境局 (9/16・10/6・11/4 加藤)
- ・ みやぎ地球市民すくすく計画2003「市民プロデューサー養成講座」/主催:宮城県環境生活部青少年課 (9/20・28 紅邑・田中・佐藤)
- ・ 市民のためのNPO講演会/主催:郡山市 (10/4 加藤)
- ・ アクティブシニア・ビジネスコンテスト講習会/主催:宮城県産業経済部産業人材育成課 (10/10 加藤・紅邑)
- ・ 仙台市社会教育委員会/主催:仙台市生涯学習課 (10/14・11/11 紅邑)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター市民活動起業講座事業「市民起業家が仙台を変える!」「市民による学校<コミュニティ・スクール>づくりを目指して」(10/17)
- ・ 東北六県行政課題研修/主催:東北自治研修所 (10/20・21・22 加藤)
- ・ 市民と市職員との交流研修/主催:いわき市 (10/23・24 加藤)
- ・ 仙台市市民公益活動促進委員会 (10/30 紅邑)
- ・ みやぎの活き活き地域づくり研修会/主催:宮城県産業経済部農村基盤計画課 (11/6 加藤)
- ・ (特)やまがた育児サークルランドアドバイザー  
/主催:南東北中核広域都市圏構想推進協議会 (11/9 加藤)
- ・ やまもとわり田園空間博物館利活用団体野外ぐるりん友の会リーダー養成講座「NPOの運営」  
/主催:山元町、野外ぐるりん友の会 (11/10 加藤)
- ・ NPOとの協働に向けた説明会/主催:岩手県地域振興部 (11/17 加藤)

■相談、ヒアリング関連

- ・ 経営相談 (9/25・11/14 加藤・青木)
- ・ 視察:岩代町議会 (9/8)
- ・ 取材:(株)法研 (10/23)
- ・ 取材:(社)コミュニティネットワーク協会 (10/28)

## サポート・ご協力 ありがとうございます

### ●平成15年度会員 (五十音順、敬称略、2003.9/7~2003.11/20)

(継続・正会員・団体)

(特活) 茨城NPOセンター・コムズ 白石市民活動フォーラム 日本労働者協同組合連合会センター事業団東北事業本部

(新規・正会員・個人) 柚原幸治

(継続・正会員・個人) 岡田真秀 男澤清勝 岸田清実 木村正樹 木村孝 木幡勝幸 鈴木格 遊佐さゆり 渡邊兼光

加藤哲夫

(新規・準会員・団体) アグリノーマライゼーションin秋保

(継続・準会員・団体) 片平たてもの応援団 国際福祉ネットみやぎ21 (特活) ふくしまNPOネットワークセンター

(継続・準会員・個人) 草島進一 高島紗綾 高橋亘 丹野修 中野勇也 廣野純朗 早坂毅(2口) 槇ひさ恵 山口宏

### ●ご寄付ありがとうございます (五十音順、敬称略、2003.9/7~2003.11/20)

(特活) せんだい・みやぎNPOセンターあて 損保ジャパンちぎゅうくらぶ

サポート資源提供システム運営委員会あて 宮城労働金庫あんしんクラブ 宮城労働金庫けんこうクラブ

### ●企業・団体協力 (五十音順、敬称略)

岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて)、東北NSソリューションズ(PONPO-NETの会議室を無料提供)、

宮城ゼロックス(PONPO-NETの会議室を無料提供)、富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)

### ●ボランティアスタッフ (五十音順、敬称略) 杵渕正幸 門間裕美 アライ

\*\*\*\*\*

## 催事・サポート案内

### ■センターサロン

日程: 12/18 (木) 講師: 櫻田彩子さん

テーマ: 人を惹きつけるNPOトークテクを学ぼう!

会場: 仙台市市民活動サポートセンターセミナーホール

時間: 19時~21時 参加費: 500円 ※要申込

### ■NPO経営相談 12/17 (金)

時間: 13時~17時

(1時間単位: 当センター事務局にて)

相談料: 会員2000円 非会員: 2500円

アドバイザー: 加藤哲夫 (事前予約が必要です)

## 新スタッフ紹介

ー9月より仙台市市民活動サポートセンターにて勤務中ですー

●氏名: 小松 州子 (こまつ くにこ) ●出身: 秋田県

●特技:

人からよく道を聞かれる事。立ち読みや映画の予告だけで  
泣けること。などなど気づくとおおよそ役に立たない事ばかり  
ですね。

●働くにあたっての抱負:

9月から市民活動サポートセンターで勤務する事になって  
はや2ヶ月。市民活動入門者としては刺激的な毎日です。ま  
さに「地図にない仙台がここにある」という感じ。サポート  
センターで、これから色々な活動を通じて多くの方に出会い、  
私が新たに発見した事、感じた事を次の誰かに伝えていけら  
らと思っています。

## Eメールを お知らせ下さい

当センターでは、会員の皆さんへのサービスとして、Eメールによる情報提供を実施  
しております。Eメールを送受信できる環境にある会員の方々に、まだメールアドレス  
を事務局にお伝えいただけていない方は、ぜひご連絡下さい。minmin@minmin.org

## せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F

tel 022-264-1281 fax 022-264-1209

E-mail minmin@minmin.org

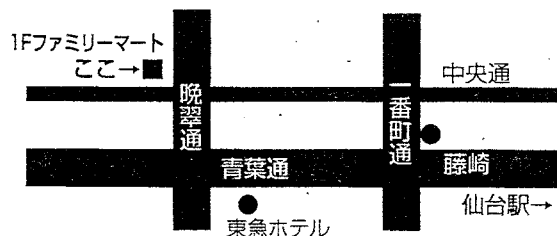
http://www.minmin.org/

会費・寄付はこちらにどうぞ!

郵便振替: 02260-3-16325

加入者: せんだい・みやぎNPOセンター

### ■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15~20分



## みんな編集後記

■冬の空は、雲の表情と光の加減が空気の冷たさもあってか、薄荷色になって  
いたりしてキレイです。今年は太陽黒点の影響で、北海道でもオーロラが見え  
ました。立ち止まって、そういう空のアートに見とれていると、つられて見上げる人がいたり  
して、チト面白いです。(べに) ■屋敷で良く利用していたお寿司屋さんがランチの営業を止めると  
のこと。私ももっと食べ支えていれば営業できていたのかも・・・何事も継続は大変だ!! (遠藤)

■自転車への注目が高まっています。車中心のまちづくりに変化が起こることに期待!(工藤)

■はらこ飯を食べに行こう!と思っていたら、季節はいつしか秋から冬へ。きりたんぼを食べに行こ  
う!へ計画変更しなければ・・・今回から「みんな」の編集を担当する事になりました。今後ともよ  
ろしく願います。(小松)

●編集部にご感想をお待ちしております!